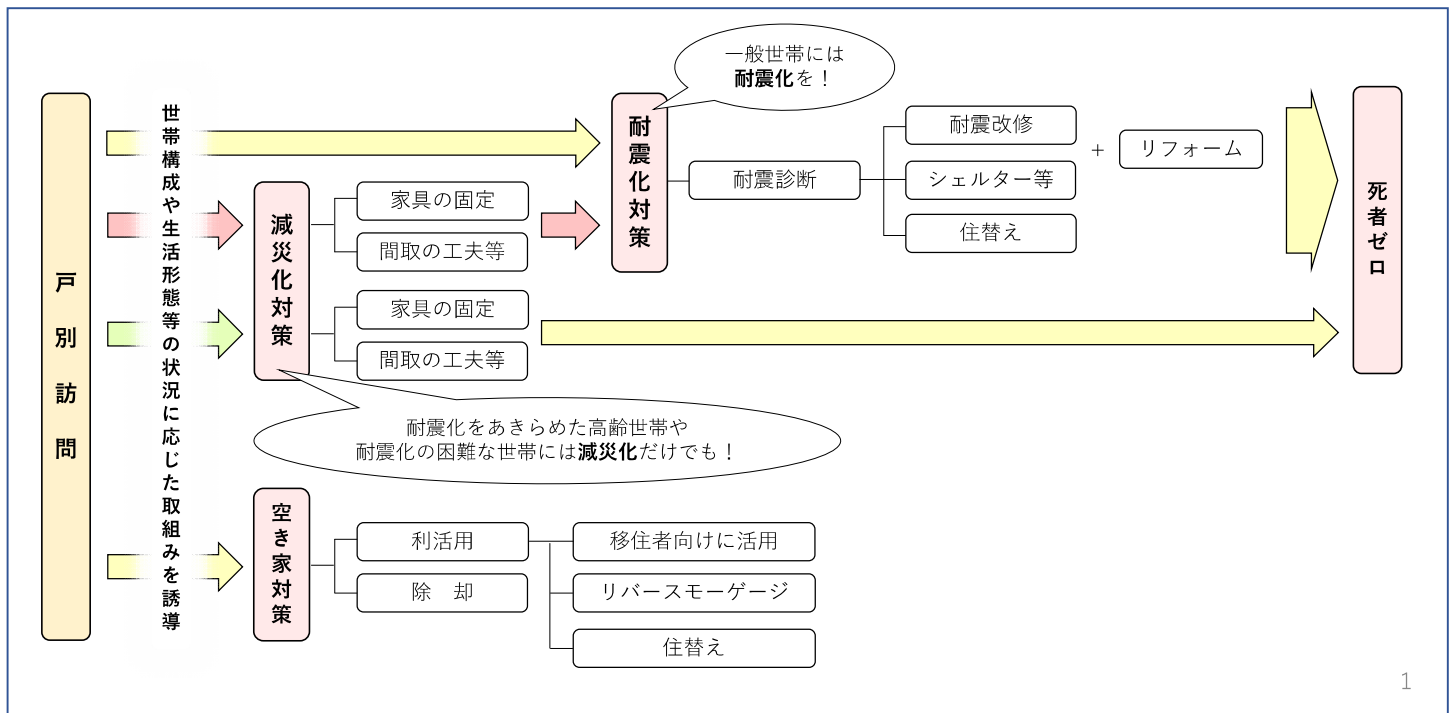


第 4 回 徳島県耐震改修促進計画検討委員会資料

1. 徳島県耐震改修促進計画(案)について

(1) 基本的な取組方針（世帯別の取組み例）

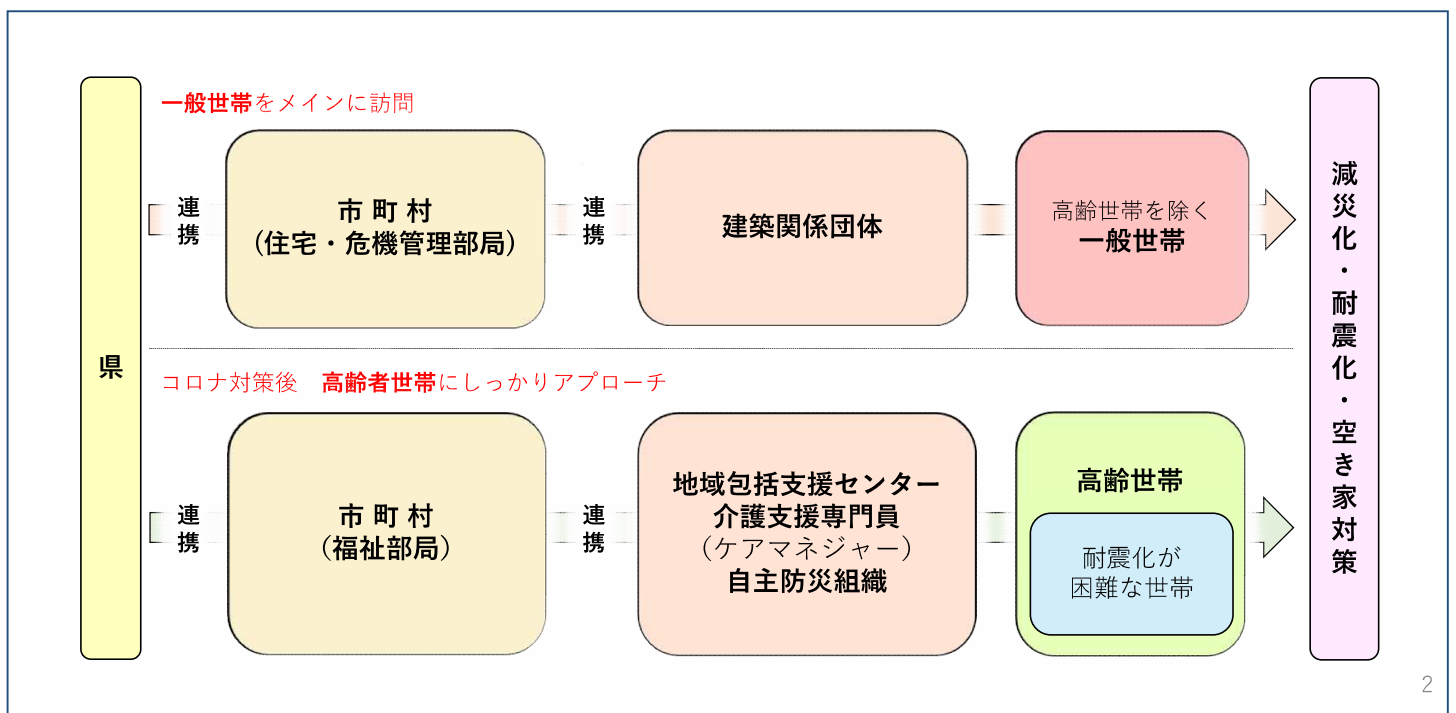
→案P 23 第4章2. (1)



1. 徳島県耐震改修促進計画(案)について

(1) 基本的な取組方針（戸別訪問の体制）

→案P 23 第4章2. (1)



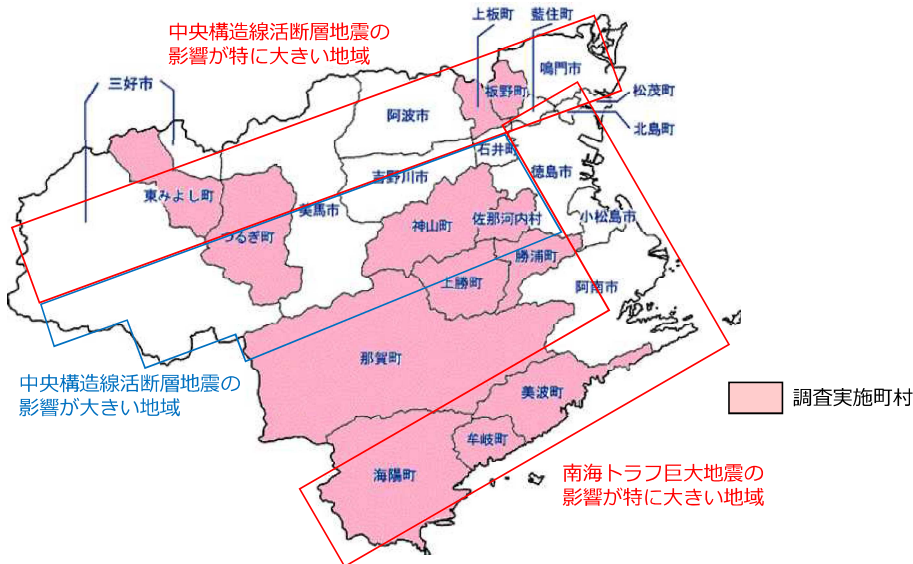
1. 徳島県耐震改修促進計画（案）について

（2）実態調査の結果

→案P 14 第3章3.（2）

<実施町村>

勝浦町、上勝町、佐那河内村、神山町、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町



3

1. 徳島県耐震改修促進計画（案）について

（2）実態調査の結果

→案P 16、17 第3章2.（2）

○地域別

南海トラフ巨大地震の影響が特に大きい地域の高齢世帯
(美波町、牟岐町、海陽町)

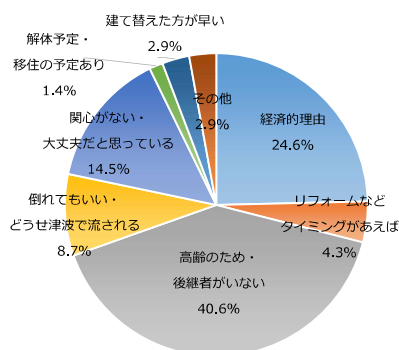


図3-3-7: 南海トラフ巨大地震の影響が特に大きい地域の高齢世帯の耐震改修しない理由

中央構造線活断層地震の影響が特に大きい地域の高齢世帯
(板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町)

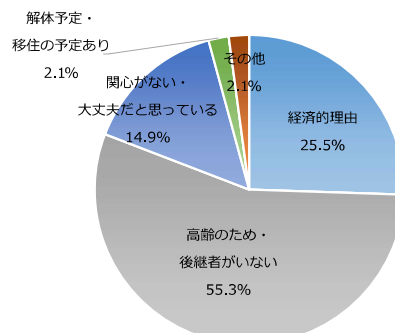


図3-3-8: 中央構造線活断層地震の影響が特に大きい地域の高齢世帯の耐震改修しない理由

実態調査を実施した町村のうち、『南海トラフ巨大地震』の影響が特に大きい地域(美波町、牟岐町、海陽町)では、「倒れてもいい・どうせ津波で流される」ことを理由に、『中央構造線活断層地震』の影響が特に大きい地域(板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町)では、「高齢のため・後継者がいない」ことを理由に改修を諦めている方の割合が、全体と比較して高くなっていることが分かります。

4

1. 徳島県耐震改修促進計画（案）について

（2）実態調査の結果

→案P 17 第3章2.（2）

○地域別

中央構造線活断層地震の影響が大きい地域（県央）の高齢世帯
（佐那河内村、上勝町、勝浦町、那賀町、神山町）

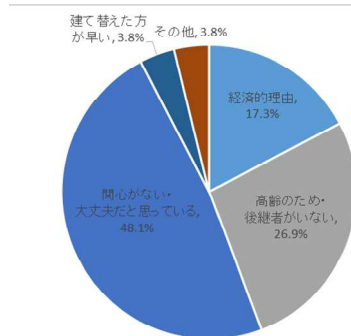


図3-3-9: 中央構造線活断層地震の影響が大きい地域（県央）の高齢世帯の耐震改修しない理由

『中央構造線活断層地震』の影響が大きい地域（県央：佐那河内村、上勝町、勝浦町、那賀町、神山町）では、「関心がない・大丈夫だと思っている」が半数近くあり、他の地域と比較して高くなっていることが分かります。

5

1. 徳島県耐震改修促進計画（案）について

（1）基本的な取組方針

→案P 25 第4章2（2）

また、『南海トラフ巨大地震』の津波予測では、早いところで地震後約4分で津波の影響が出始め、約28分で最大波に到達する地点もあり、避難経路を確保し最低限の安全を確保することも重要です。

このため、「後継者がいない」ことや「津波で流されてしまうから」などを理由に耐震化を諦めている高齢世帯や、築年数が古いせいで耐震性が著しく低く耐震改修が困難な世帯等に対しては、地震被害を最小限に抑え、最低限でも安全性を確保するため、次のような家具類の転倒防止対策を普及促進します。

6

1. 徳島県耐震改修促進計画（案）について

（2）命を守る取組

→案P 2 6 第4章2. （2）

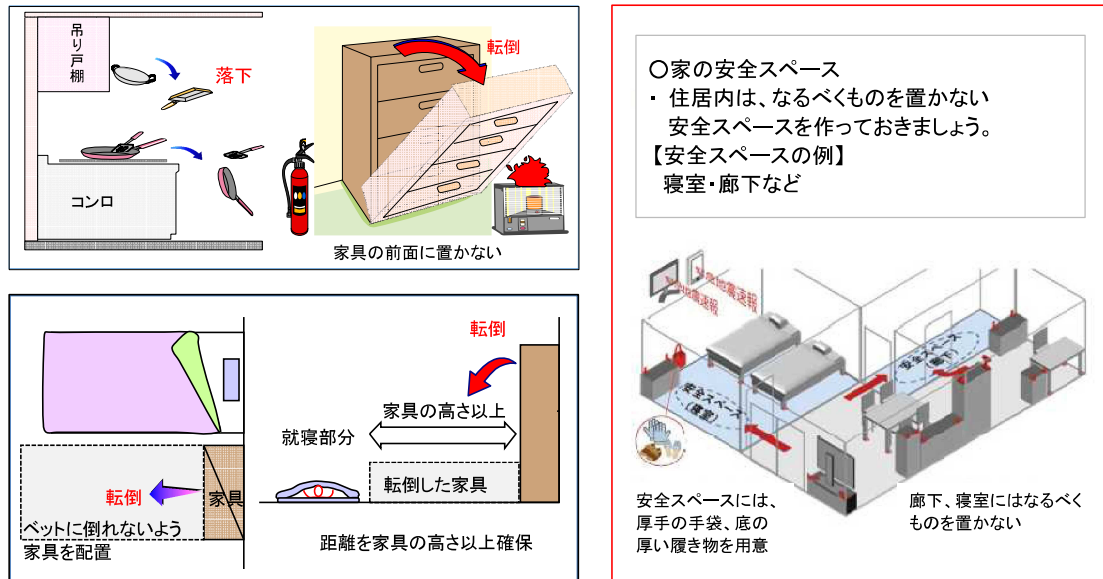


図4-2-4: 家具配置の工夫

7

1. 徳島県耐震改修促進計画（案）について

2. 危険なブロック塀の解消

→案P 3 4、3 5 第5章2

平成30年6月に発生した大阪府北部地震では、老朽化した危険なブロック塀の倒壊により死者が発生する被害が問題となりました。

このように危険ブロック塀の倒壊は、死傷者が出る恐れがあるばかりでなく、倒壊により避難路を閉塞するなど、被災者の避難や救助、消火活動、物資の輸送等に支障が生じる可能性もあり、危険ブロック塀の倒壊防止対策は重要です。

（中略）

併せて、ブロック塀の点検方法の動画や、危険ブロック塀対策に対する地域の取組をまとめた冊子を作成し、県民に対して老朽化したブロック塀の点検や危険ブロック塀の転倒防止対策の重要性の周知を図っています。

今後も市町村や関係団体と連携し、危険ブロック塀の解消に向け取り組みます。

8